

磐城銀行出張所
四倉電氣株式會社

平警察署前

吉田大次郎

加納外一

諒闇中の新年を迎へ、謹而弔意を表す

諒闇中に付き、年頭の禮を欠く

磐城調査新報

發行日隨時
編輯印刷人兼發行人
石城郡湯本町
新報社
電話 三三番

新春を迎

嗚呼 天皇 皇后 兩陛下並に 皇太后宮を初め竹の園生の各宮殿下が御心こめられし御看護も、側近の侍臣が百方欠くる處なき御手當のその甲斐もなく、八千萬同胞の熱誠も水泡に歸し遂に帝國として最も悲むべき最大不幸に際會した。

申すも畏れ多い事であるが、大行天皇陛下にはかねて御体質御健からに涉らせられなかつたに拘らず、其御身を以て常に國治に御精勵あるはされた事が著しく御健康を損せられたのではないかと推し奉るにつけ、我々の悲しみは一層深く、心の痛も亦大きい、泣かんとして泣く能はず、哭せんとして哭する事を得ぬ。

われらの殿下として永く親しみまへられた 今上天皇陛下は、今や國民の親として、師として、力として君臨し給ふのである。仰ぎ見れば、赫々として眞に初日の出にも似たる。陛下の御前途は、我々に無限の光明を與へるものである。

一 小國より東洋の盟主日本へと國運を進展せられたる明治大帝を御祖父とし、東洋の日本より世界の日本へと國威を發揚せられたる 大行天皇を父君とさるゝ、今上天皇に必ずや、更らにわが帝國を世界列強の主班に其位置を引き揚げてあらう、斯く想ふ時われ等の血は躍る御聰明にして博識、而も御友情に厚く、平和を熱愛し給ふ今上天皇が世界人類の崇敬の的として仰がるゝ日を想ふ時、われらの胸は云ひ知らぬ誇りを以て満される。

財政經濟より見たる 國運隆盛のあと

大正十五年間の回顧

大正元年より同十五年に至る我六十三万里を加へ、又人口は六が經濟界はあらゆる重要な現正元年七千〇三十萬人強が大正象に當面して實に波瀾重疊を極十四年末の調査に依り八千三百めたるものであつた、先づ歐州四十五萬人強となり逐年増加を大戦亂に次ぐに目撃戦争、青島示し、其の増加率の如きは列強出兵となり、シベリヤの出兵、中第一、二位にある。

社告
申すまでもない事ではあります、大喪中の事であり、ますから當社よりの賀状又は廻禮は全々致しませんから悪からず御諒察下さる様御願ひを致します。

大正元年より同十五年に至る我六十三万里を加へ、又人口は六が經濟界はあらゆる重要な現正元年七千〇三十萬人強が大正象に當面して實に波瀾重疊を極十四年末の調査に依り八千三百めたるものであつた、先づ歐州四十五萬人強となり逐年増加を大戦亂に次ぐに目撃戦争、青島示し、其の増加率の如きは列強出兵となり、シベリヤの出兵、中第一、二位にある。

元 年	三五、〇〇〇
十四 年	一、四三、〇〇〇
元 年	一、九七、二九三
十四 年	一、一三六、五九三
元 年	二、〇三三、四三二
十四 年	一、〇四三、六九三
元 年	八〇四、九一二
十四 年	三、〇一四、五七九
元 年	一、七五、六一
十四 年	一、〇八四、九〇八
元 年	五、九八八
十四 年	一、〇、八八四
元 年	一、四三〇、三二九
十四 年	三、四九六、〇六六
元 年	九二、九九五
十四 年	四、二四二、七九八

前代議士

伊藤淺之助
石城郡飯野村字白土

安島重三郎
石城郡川部村

堀部留造
石城郡久之濱町

平町料理屋組合

石城郡湯本町
入山探炭株式會社
電話 三三番

卯年生れの諸名士調べ

卯年生れの諸名士調べ
現在活躍してゐる名士は年頃が等には著名な人が一寸少い...

白翁漫談 (六)

白翁漫談 (六)
暮になつては新聞屋も世間並に忙しだらうな。ワシは...

決算報告

Table with financial data including 借入金, 貸付金, 利益金, etc. (Financial Statement Report)

諒闇中に付き年頭の禮を欠く

Business directory listing various shops and services such as 磐城共済病院, 金子提灯店, 須田履物店, etc.

諒闇中に付き年頭の禮を欠く

和泉屋旅館

大川屋商店

茗貸 古電

謹而諒闇中の新年を迎へ

諒闇中に付き
年頭の禮を缺く

入院 隨意
平町南町
専門 上田外科醫院
電話一二九番
自炊の便あり

ローヤル號 代理店 大高自轉車店
センテリー號
購買法も御相談に應ず
平町土橋

ライオン印パンコ 代理店
チキン印ソーヌ
平町田町
吉村製綿店
吉村安次郎
電話二五七番
和洋酒 海老屋商店
電話二三五番

日本火災保險株式會社
代理店 中野甲藏

靴の御用命は……
仙臺屋靴店
平町播磨小路

平町一丁目
和久井屋漆器店
電話〇五番

平町四丁目
和泉屋旅館
電話二二七番

平町理髮業 合組

鈴木榮
石城郡小名濱町

千代田生命保險株式會社
社員 馬目信之助
自宅 平町卅六番地

美術 意匠 三友舎版石店
藤田專吾
平町南町

折の出納豆詰

眞田豆腐店
本店 古銀冶町
支店 胡摩澤

萬青物商 森商店
平町長橋町

和洋菓子問屋 大川屋商店
平町紺屋町

福島縣平町五丁目
東部電力株式會社
平營業所

御料理 二丁目河岸通
天ぶら 越の家
電話三三〇番

小間物 平町一丁目
化粧品 大金百貨店

關本驛前

平瀧運送店
小田切猛太郎
電話 大津三番 平瀧四番
石城鮮魚商組合
組合員一同

平町南町
本間製綿店
電話二六九番

牛島御料理 石川亭
電話四三番

平町三丁目
三井吳服店
電話三八番

平町南町
松村鐵郎
電話一〇七番

右之通り二條也
大正十五年十一月廿七日
平製氷株式會社
事務取締役 加納五郎

奥山庄作
平町長橋町
電話五〇三番

白萩平支店
平町研町
電話四四三番

戸田兵藏

謹而諒闇中の新年を迎へり 加納活版所

◎生活改善 茗貨
カシキモ 荷衣
貸衣裳 屋店
◎元費節約
町治銀古 番六一三話電

平町紺屋町
旅館 住吉屋本店
電話一五九番

ガラス鏡専門
柴山健三
平町土橋

平驛前
旅館 住吉屋支店
電話一四九番

平藝妓屋組合

平町四丁目
質店 三井富吉

◎出張映寫
キネマ 藤原商會
主任 芳賀紋次郎

諒 閣 中 に 付 き
年 頭 の 禮 を 欠 く

山崎合名會社
鹽屋
福島縣平町
電話營業部一〇番
醸造部二七番

平氷卸商組合

酒類雜貨
木材薪炭
湯本櫻木町
(湯本座前)
高崎商店
自轉車販賣

石城郡好間村中好間
小田炭礦株式會社
社長 小田 吉 治

四倉銀行會社組合
磐城セメント株式會社
四倉運送倉庫株式會社
萬年五工業株式會社
磐城銀行出張所
四倉電氣株式會社

迅速丁寧
飯塚理髮舖
本店 古銀治町通り
支店 平警察署前

水野氷室
瓦斯コークス部
平 驛 前
電話三二番

チクオンキ
レコード
樂器
三幸堂
平町二丁目
著音器のどんな破損も速く
修繕致します

理髮器具
化粧品一式
婦人洋髮器具
鏡
芳香園油店
平警察署前

平町二丁目(電話三番)
西村屋藥舖
鈴木 堅 助

認 公
運送店
常磐線泉驛前

磐城無盡商會
平町田中町

豐國火災保險株式會社
平町二丁目
平代理店 **三井常松**
電話一五六番

福島縣平町三丁目二七番地
佐川洋服店營業所
本店 電話四一八番
支店 電話二六九番
支店 電話(呼)六二番

縣會議員 **小野晋平**
石城郡小名濱町

平製氷株式會社
中之作特約店
吉田大次郎

福島縣石城郡平町
桐原英純

福島縣石城郡平町
磐城建物株式會社
電話五一八番

和洋銅鐵
金物問屋
磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平 電話一九三九番

確實敏捷は(久)の生命なり!!!
久

石城郡銀行組合
磐城銀行 磐城越銀 磐城東銀 磐城實業銀 磐城七十七銀行 磐城農工銀行 磐城第七倉庫 常盤銀行 植田出張所

平町久保町
永山和平
電話二〇七番

加納 外 一

諒 閣 中 の 新 年 を 迎 え 謹 而 弔 意 を 表 す
磐 城 調 査 新 報 社 同 人

磐城調査新報
發行日隨時
編輯印刷人 兼 發行人
馬目 雅 治
福島縣石城郡平町
紺屋町二十九番地
磐城調査新報社

社 告
申すまでもない事ではあり
ますが、大喪中の事であり
ますから當社よりの賀状又

正貨在高
元 年 三五一〇〇〇
十四年 一、四一三、〇〇〇
郵便貯金高

諒 閣 中 に 付 き
年 頭 の 禮 を 欠 く